

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.325

発行日 平成19年(2007年)11月1日

発行 武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直)
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 決算特別委員会審査概要 ……2-3面
- 決算に対する各会派の討論 ……3面
- 一般質問 ……4-5面
- 議案の審議結果一覧 ……6面
- 政府等への意見書、決議 ……6面
- 請願・陳情審議結果 ……6面

第三回 市議会定例会

九月三日から開かれた第三回定例会は、九月二十八日に閉会しました。今議会では、平成十八年度の決算の認定や西島和彦氏(物理学者)及び篠原三代平氏(経済学者)を名誉市民に推挙する議案の同意など、十五件の市長提出議案が議決されたほか、都市農地保全に関する意見書など計七件の議員提出議案が議決されました。また十五人の議員が一般質問を行うなど、活発な議論が交わされました。

平成十八年度決算を認定

平成十八年度の決算が九月二十八日の本会議において、全会一致で認定されました。「平成十八年度武蔵野市決算の認定について」と「平成十八年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について」の二議案は、十八日に設置された決算特

別委員会に付託され、五日間の審査を行い、二十五日の委員会最終日では質疑・討論終了後、全会一致で認定すべきものと決しました(二・三面に決算特別委員会審査概要を掲載)。二十八日の本会議では、両議案について、桑津昇太郎決算特別委員長

が委員会での審査経過の報告を行い、質疑終了後、各会派の代表と会派に属さない議員一名の計七名が、いずれも賛成討論を行いました。討論終了後の採決の結果、両議案は全会一致で認定されました。

武蔵境駅舎連続施設(南側)新築工事 請負契約を可決

九月十八日の本会議で「武蔵境駅舎連続施設(南側)新築工事請負契約」が可決されました。

本施設は、第四期基本構想・長期計画の中で、「鉄道連続立体交差事業の完成に合わせて、武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会による市民活動の成果を反映した駅舎」と位置づけられています。

平成八年に武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会が地域住民や地元企業を中心に設置され、市ではその活動を支援するとともに、武蔵境駅舎周辺環境整備基本計画を策定し、十五、十六年に基本設計、十七年に実施設計を行ってきました。

本施設は、シンボルゲート、シエルト(回廊)、キャノピー(ひさし)で構成され、シエルトには屋根の緑化、シンボルゲートには壁面緑化が行われます。

本工事の契約金額は、一億九千八百四十五万円、完成時期は、西武鉄道多摩川線新駅舎及び西武鉄道の店舗オープンに合わせ、平成二十年六月末の予定となっています。

本案は九月十三日の鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会の審査を経て、十八日の本会議において全会一致で可決されました。



Photo Gallery

フォトギャラリー

市議会だよりは、市民のみなさんからの公募写真を1面に掲載しています。次回の応募要領については、6面をごらんください。



「幻の池」(大雨の後)

撮影：熊木 富士子
(武蔵野市)

場所：井の頭恩賜公園
(2007.7.30)

大雨の翌日、井の頭公園にウォーキングに行きました。その翌日、もう一度行ったら、水はすっかり引いていました。多分その水は、下の湧き水になって、神田川に流れていくのではないのでしょうか。

審査概要

決算特別委員会は9月18日、委員10名からなる決算特別委員会を設置し、正副委員長を選出、25日までの5日間審査を行いました。一般会計及び4特別会計の歳入決算総額、888億5,092万円、同歳出決算総額、856億8,526万円です。31億6,566万円が翌年度へ繰り越されました。また、水道事業会計の収益的収入及び支出(消費税等控除後)は、収入34億952万円、支出32億1,577万円、差し引き1億9,375万円の純利益となりました。

以下は各委員から、昨年度の予算執行について議論が行われた決算特別委員会の審査概要です。

総括質疑

邑上市長が編成した最初の予算、成果を伺う

問 平成十八年度予算は、邑上市長が初めて編成した予算だったが、成果を伺う。
答 行政としての計画づくりの中に市民が参加できる仕組みを位置づけたことが大きな成果と考えている。

問 使交渉を適切に行っていききたい。平成十八年度予算ではキャッシュ制のほかに、枠配分方式が採用されたが、その成果を伺う。
答 都市整備部で採用し、用地買収対策専門委員の廃止など事業の見直しや、部のマネジメント力の向上が図れたことだ。

歳入

税、水道料金のクレジットカード支払い導入を

問 下水道は時間当たりの降雨量が五十ミリまでしか対応できないが、それに頼らない雨水浸透施設の全所的な展開など、ハード面の対策を行っていききたい。
答 職員適正化計画に基づく職員定数の削減についての考えは、五カ年で百名削減する計画であり、スリム化は行政が取り組まなければならないものと考えている。

問 税金、水道料金などの収納率を上げるため、クレジットカード払いを導入することについて、本市の見解を伺う。
答 手数料が一パーセントかかるため、固定資産税など特に税額の高いものに関しては、手数料負担について検討が必要と考える。水道料金に関しては、検討を続けたい。

総務費

今後の市民参加をどう考えるか

問 今後の市民参加についてどのように考えるか。
答 積極的に参加する市民だけではなく、若い世代や会社員等、さまざまな立場の方が意見を言える場を作りたい。

問 市の職員関係者の葬儀に、交際費から香典の支出をしないのはおかしいのではないかと。
答 支出基準に基づいて行っている。私費で香典を出しているというわけではない。

問 管理職は大変だからなりたかない、という傾向が若い職員の中にあることをどう考えるか。
答 管理職の待遇を責任に見合ったものに変えることを大いに検討していきたい。

問 市政アンケートの中で、自治基本条例に関する要望が全くないようだが、どう考えるか。
答 市民の認知度はまだ低い。今後、自治基本条例の検討内容について伝えていきたい。

問 ブルーキャップの増員とホワイトイーグルの増車により具体的な効果はあったのか。
答 平成十四年と比較して全刑法犯で千二百件減少し、特に侵

問 法人市民税で、企業からの臨時税収があったということだが、事前に分からなかったのか。
答 臨時税収があった企業は持ち株会社で、今回は保有株式の売却による特別利益であり、市として事前に情報を得ることは難しい。

問 基金の運用について、指定銀行に対して積極的に利率の交渉を行うべきではないか。
答 窓口収納手数料等を引き続き無料とする交渉を行っている。利率の交渉は難しいが、今後粘り強く交渉を行っていききたい。

民生費

障害者就労支援センター「あい」の実績は

問 平成十八年度より実施した、障害者就労支援センター「あい」を十月から開設し、年度末までに、電話相談等、約千件、登録者数約六十名、一般就労者数十四名の実績があった。
問 福祉型民間アパートについて、応募状況、緊急を要する入居希望者への対応を伺う。
答 例年、五、六戸の空きに對し、七十名から八十名の応募がある。入居者選考の際は、応募者全員の住居状況を調査し、困窮度の高い方より入居していた。

問 学童保育の土曜日閉所の理由と、入所を市立小学校児童に限っている理由を伺う。
答 土曜日は、全児童対策として実施している「あそべえ」で対応する。また、学童保育は、市立小学校と同時連携をとって運営しているため、私立小学校児童の受け入れは難しい。

問 路上のガムが目につく。落書き防止条例等への取り組みを伺う。
答 「落書き消しちやい隊」を組織し、消す作業などを行っている。条例については、まちを美しくするための景観的な制度の構築を優先するべきと考える。

問 ごみ収集業務について、民間委託を進めるべきでは。
答 平成十八年度は四十五名であった技能労働者数を二十一年度には二十五名とし、一般収集については、全面委託化する予定である。

問 エコセメントは市内のどこで使用されているのか。
答 吉祥寺の中道通りのブロック舗装に使用された。

問 ごみの分別方法を理解していない方も多い。ごみ便利帳を再配布するなど、対策を講じるべきではないか。
答 転入者には、転入手続きの際にごみ便利帳を配布している。転入手続きをしていない方、昼間に本市で活動されている方等への啓発が今後の課題である。

問 本市独自の健康診査の高い水準は、医療制度改革後も維持されるのか。
答 国民健康保険の特定健診と、市の独自健診を行うなど、従来の水準をできるだけ維持していきたいと考えている。

問 労働・商工費

問 市としてより積極的に就労支援に取り組むべきではないか。
答 市内中小企業を紹介することと、就労と商業振興を結びつけた取り組みを研究したい。

問 路線商業活性化懇談会の提言を受け、具体的にどのような取り組みを行ったのか。
答 富士見通り商店会のコミュニティスタジアム事業は商店会組

問 織の活性化、強化につながったと考える。また、個店の魅力を向上させるためのムーショップ認定制度について、平成十八年度から研究を行っている。

問 吉祥寺の駐輪場設置について、地下利用を含めた見直しは。地上の設置だけでは限界がある。今後地下利用について先延ばししないで検討したい。
問 吉祥寺北町一丁目目を整備した透水性道路の評価と、今後の実施予定を伺う。
答 強度や透水性機能のメンテナンス等の問題がある。二十一年度まで試験施工し、二十一年度に評価を行い、全的に実施できるとか検討したい。

問 吉祥寺共同荷さばき場設置検討の今後の方向性を伺う。
答 今後実施に向けた検討を進め、来年初めに地元、関係行政機関、トラック協会等で構成する協議会を立ち上げる予定である。

土木費

吉祥寺の地下利用の見直しは

問 吉祥寺の駐輪場設置について、地下利用を含めた見直しは。地上の設置だけでは限界がある。今後地下利用について先延ばししないで検討したい。

問 吉祥寺北町一丁目目を整備した透水性道路の評価と、今後の実施予定を伺う。

問 強度や透水性機能のメンテナンス等の問題がある。二十一年度まで試験施工し、二十一年度に評価を行い、全的に実施できるとか検討したい。

問 吉祥寺共同荷さばき場設置検討の今後の方向性を伺う。

問 今後実施に向けた検討を進め、来年初めに地元、関係行政機関、トラック協会等で構成する協議会を立ち上げる予定である。

問 市民の自主防災を今後どのように確立していくのか。

答 自主防災グループに対し、初期消火訓練等を実施し、指導者の育成に努めたい。

問 ブロック塀の倒壊の危険箇所点検はどうしているのか。

答 現在防災推進員を中心に点検を行い、市と防災協会に情報提供をいただいている。

消防費

市民の自主防災の確立を

問 市民の自主防災を今後どのように確立していくのか。

答 自主防災グループに対し、初期消火訓練等を実施し、指導者の育成に努めたい。

問 ブロック塀の倒壊の危険箇所点検はどうしているのか。

答 現在防災推進員を中心に点検を行い、市と防災協会に情報提供をいただいている。

衛生費

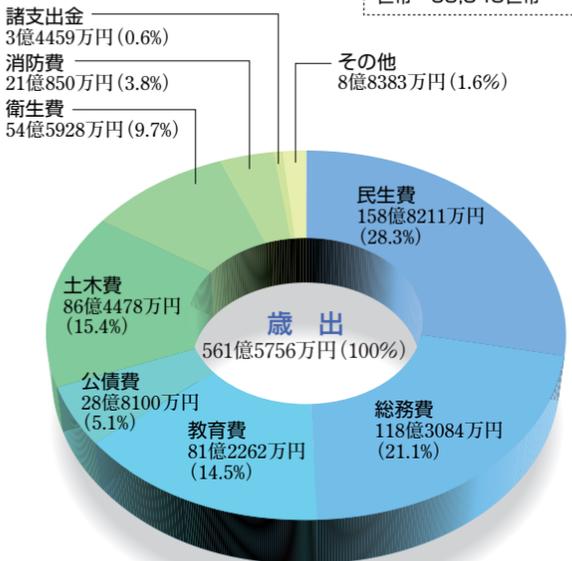
落書き防止条例等への取り組み状況

問 路上のガムが目につく。落書き防止条例等への取り組みを伺う。

答 「落書き消しちやい隊」を組織し、消す作業などを行っている。条例については、まちを美しくするための景観的な制度の構築を優先するべきと考える。

決算額内訳

平成19年3月31日現在
人口 134,123人
世帯 69,543世帯



諸支出金
3億4459万円(0.6%)
消防費
21億850万円(3.8%)
衛生費
54億5928万円(9.7%)

その他
8億8383万円(1.6%)

歳出
561億5756万円(100%)

民生費
158億8211万円(28.3%)

総務費
118億3084万円(21.1%)

教育費
81億2262万円(14.5%)

公債費
28億8100万円(5.1%)

土木費
86億4478万円(15.4%)

衛生費
54億5928万円(9.7%)

消防費
21億850万円(3.8%)

その他
8億8383万円(1.6%)



決算特別委員会の審査風景



桑津昇太郎 決算特別委員長

審査した特別委員

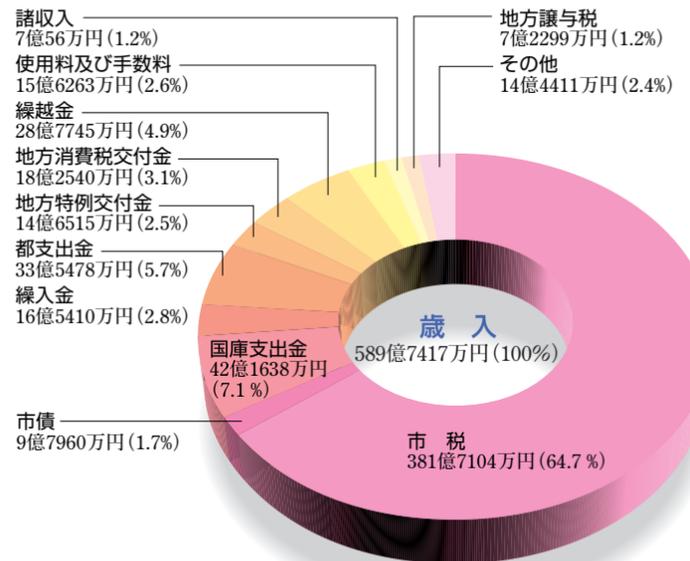
平成18年度決算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- ◎桑津昇太郎 ○深田貴美子
- きくち太郎 梶 雅子
- 島崎 義司 小野 正二
- 田中 節男 寺山光一郎
- 山本あつし 深沢 達也

◎印 委員長 ○印 副委員長

決算特別委員会

平成18年度一般会計歳入歳出



教育費

開始から十年以上経過したセカンドスクールの課題は

問 セカンドスクールは、開始から十年以上経過したが、課題について何う。

答 受入れ施設側の高齢化等の課題もあり、現在、ファーストスクールとの関連、体験活動のあり方、実施場所、時期、日数等について、検討を行っている。

問 いじめ等に発展する恐れのある、裏サイト対策をどのように行っているか。

答 生活指導主任会での情報交換、書き込みのチェック、保護者への啓発等を行っている。

問 学力調査について、教育長の見解を伺う。

答 子どもたちがつまづいた点を把握し、指導の改善を図るべき事項、本市の学校教育の課題を明確にするための手段の一つとしてとらえており、学校の順位づけや学校の予算配当に利用する考えはない。

国民健康保険事業会計

一般会計からの繰入金の限度は

問 一般会計からの赤字繰入金が約八億三千七百万円であるが、赤字補てん分として、どの程度が限界と考えているか。

答 本市の保険制度を維持するためには、おおよそ十億円程度と考えている。

問 格差が広がり、低所得者の負担が強まる中、保険料を払えない市民が増加すると思われるが、滞納者への対応は。

答 現在、滞納世帯は一割近くあり、窓口での分納相談で対応している。

問 審査に付された決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、関係諸帳簿と合致していることを確認した。

また決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

監査委員 内田 博/与座 武

水道事業会計

技術継承のための人材育成を問う

問 水道技術を継承するため、人材育成が急務と考えるが、見解を伺う。

答 一定の技術職員を採用し、現在の水道技術を継承できる人材の育成に努めたい。また企業会計であるため、技術職だけでなく、事務に関しても人材育成が必要である。

監査意見書

〔一般会計、四特別会計〕

審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りはないものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿及び証書類と符合し、計数は正確なものと認められた。

今後の市政運営を展望したとき、地域での暮らしを支える福祉の充実、子育てしやすい環境の整備、持続可能な環境共生都市づくり、市民の安全・安心のまちづくり、社会資本の整備・更新等多くの財源を必要とする課題がある。市民の要請にこたえ、透明、公平な行政運営に一層取り組み、事務の効率化、組織の簡素化など徹底した行財政改革に取り組みとともに、財源の確保に努められるよう要望する。

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、関係諸帳簿と合致していることを確認した。

また決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

監査委員 内田 博/与座 武

決算に対する各会派の討論

9月28日の本会議で決算に対する各会派の賛成の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない砂川議員の①②に賛成する討論もありました。なお、各会派の構成は6面に掲載しております。決算特別委員会の詳しい内容を、以下の会議録またはインターネット議会中継のホームページでご覧いただけます。会議録 <http://asp.db-search.com/musashino-c/> インターネット議会中継 <http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/> また、各市立図書館、コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーにおいても11月下旬以降会議録を閲覧することができます。

- ① 平成18年度武蔵野市決算の認定について
- ② 平成18年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について

市議会公明党

社会資本整備のため、さらなる財源充実確保を求める

小野正二議員

①② 賛成

地域での暮らしを支える福祉の充実、中学校給食実施に向けた検討委員会の設置、子育てしやすい環境の整備、市民に安くておいしい水を供給し続けている水道事業を評価する。その一方、安全安心のまちづくりの社会資本整備など、今後多くの財源を必要とする課題がある。平成19年度以降は個人市民税など減収が見込まれており、適正な組織の簡素化など、行政改革を進め、さらなる財源の充実確保に努めることを要望する。

市議会市民クラブ

徹底した行財政改革・組織改革を進め財源確保を

寺山光一郎議員

①② 賛成

平成18年度は邑上市長が編成した初めての予算で、防災安全センター西棟増築工事、浸水対策事業、地域包括支援センターの設置等、各種事業が第四期長期計画、市長の施政方針等に基づき実施されたことは評価する。一方、市民会議、暫定予算の空白期間、中学校給食、市長・市役所交際費など理解できない点があったことも指摘しておく。今後、上下水道施設の再整備等財源が必要で、徹底した行財政改革・組織改革を進め、財源確保に努めるよう要望する。

市民の党

庁内の活性化を評価し、今後の情報公開の改善等に期待する

山本あつし

①② 賛成

法政跡地、三鷹駅北口ツインタワー問題に関しては、今後、意思形成過程なども記録し、情報公開することを改めて要請する。雇用や就労問題に関する、これまで以上の積極的な取り組み、介護保険の7%助成にかわる新たな展開に期待する市長の意欲の具体化に期待するが、エコセメントの市内での使用については、事前に説明すべきではなかったか。全般的には、市長交代後の職員の意欲、積極的な姿勢などを高く評価する。

日本共産党武蔵野市議団

平和への取り組み等を評価する

梶 雅子議員

①② 賛成

邑上市政の平和への取り組み、中学校給食検討委員会を設置したこと、長期計画調整計画策定に、公募市民委員による市民会議を新設したこと、集中豪雨対策のための雨水貯留浸透施設の設置、保育園へのクーラー設置等を評価する。その一方、介護保険利用料7%助成制度の終了や、国民健康保険税の値上げの激変緩和措置を3年限定としたことについては、税負担が増え、経済状態が厳しい高齢者の暮らしを守るため、見直しを求める。

自由民主クラブ

市長の政治姿勢に問題はありますが、市政が滞りなく執行されたことを評価する

きくち太郎議員

①② 賛成

平成18年度は市長の強引な手法による新公共施設縮小案等で、当初予算が否決された後、議会意思を反映した本予算が成立した。浸水対策事業等の多くの施策は評価できるが、自治基本条例先にあるべきは大多数の市民の声ではない。また、必要な土地は取得すべきであるが、前年度と比べ一転、土地開発公社含め5倍の約50億円の購入であり一貫性がなく「大事なことは市民と決める」約束と一致しない。議会と協力し計画的な市政運営を要望する。

民主党・無所属クラブ

着実な市政執行を評価し、今後の課題解決に期待する

深沢達也議員

①② 賛成

平成18年度一般会計は2カ月間の暫定予算期があったが、大きな支障もなく、執行率は96.3%で、着実に執行された。4特別会計とあわせた執行率も96.8%で、水道事業会計は、深井戸の増設など、経営努力が認められる。今後、保健、医療、福祉分野で国の制度改編に伴い、自治体としてとるべき行動など、将来に向けた課題は山積するが、時代のニーズに果敢に対応し、市民福祉のさらなる向上に取り組まれることを期待し、認定に賛成する。

一般質問

第3回定例会では9月3日と4日に、15名の議員から一般質問が行われました。この中から主な質問と回答を要約して掲載します。

詳しくは、11月下旬発行予定の会議録(設置場所:各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナー)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第3回定例会分は11月26日登録予定)、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長を初めとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について質問したり、説明や報告を求めたりすることをいいます。



●打ち水大作戦
平成19年8月13日～17日の間、「涼」を呼び起こすことを目的として市役所本庁舎前で「武蔵野打ち水大作戦」が実施されました。

安全で住みやすいまちづくりの推進を

深沢達也議員

問 歩行者・自転車が安全に利用できる道づくりの一環として、自転車専用レーンを増設する考えはないか。

答 幅員の狭い道路に専用レーンを設置するのは困難だが、広い道路であれば、自転車レーン的なものの設置も可能と考える。

問 景観条例の制定について、市の考えは。

答 本市の景観のあるべき姿を景観計画等で定め、それを運用する仕組みとして条例の制定を考えている。できれば来年度に委員会等を設置し、景観条例等の制定に向けて前向きに取り組みたい。

このほか、「環境カフェ」の設置、暴走自転車対策等についての質問がありました。

すべての子どもが支えられる子育て支援施策の充実を

深田貴美子議員

問 病後児保育施設の増設について伺う。

答 現在は西久保に1カ所あり、昨年度に比べ利用者が増加傾向にある。市内全域からは利用しづらいので、適切な場所や希望があれば、前向きに増設を検討したい。

問 子育て支援推進のため、児童福祉を地域福祉総合計画の中に位置づけるべきでは。

答 子育てプラン武蔵野の中で、子育て、教育、福祉、保健衛生、まちづくり等、総合的な計画を策定しているが、児童福祉の整理の仕方については、今後検討したい。

このほか、障害児の地域での居場所、大学生等による子どものサポーター事業等についての質問がありました。

雇用対策として、ハローワークの市設置を

山本あつし議員

問 障害者・高齢者・若者・生活保護受給者など、就労困難層に対する雇用対策に、市で取り組む体制づくりが必要ではないか。

答 国や都、既存のハローワークなどと連携、協力しながら、市も前向きに就労支援策を考えていきたい。

問 三鷹駅北口開発事業者との交渉過程、法政跡地マンションのシミュレーション委託の詳細など、仮に文書がないなら、後日文書を作成してでも、情報公開すべきではないか。

答 今後は、打合せの記録等きちんと文書で残し、公開の対象としていきたい。

そのほか、自転車対策、外環道路問題等に対する質問がありました。

新たな市民協働事業へ具体的支援策を求める

砂川なおみ議員

問 市民協働事業の公募を具体的に進めるべきと考えるのがいかか。また、市だけでなく市が委託する指定管理者との市民協働のマニュアル整備が早急に必要ではないか。

答 公募等について、委員会の立ち上げ等、早急に検討したい。指定管理者には協働に関する市の考え方を示していきたい。

問 既存の施設、都市観光と環境、地域振興、都市農業保全などをアートの視点で結びつける文化戦略を企画してはいかかか。

答 本市の観光資源を再認識・再発見し、つなげていく取り組みは、市の魅力をアップするために大変重要と考えている。今後の観光推進計画運用の中で議論したい。

武蔵野市子ども協会の早急な法人化を

川名ゆうじ議員

問 武蔵野市子ども協会は現在法人格を有しない団体であるが、今後の事業展開や訴訟への対応、各種補助金の対象資格等を考えれば、早急に法人化すべきではないか。

答 当該団体は今後極めて広範な事業展開が可能であると考えており、法人化について前向きに検討を進めたい。

問 住宅の耐震補強工事等だけでなく、防災ベッド等の安価で簡易な防災用品を備えることで人命を救う減災を優先する考えは。

答 防災用品等について、補助を研究するほか、情報提供を積極的に行いたい。

このほか、選挙開票事務作業の改善等についての質問がありました。

本市の福祉サービスから漏れる市民を支える仕組みづくりを

小野正二議員

問 生活支援ヘルパー派遣を利用している高齢者から、利用時間を超える時間が自己負担であっても、さまざまなサービスを受けたいとの要望が多いが、市の見解を伺う。

答 在宅介護支援センターが窓口であることを丁寧に周知していくほか、市でも相談を受け付けている。

問 本市の福祉施策による公助にも限界があり、一人世帯の高齢者等が安心して生活できる、支え合いの仕組みづくりが求められていると考えるが、市長の考えを伺う。

答 市独自の福祉施策等の公助や地域協力のネットワークづくり等の共助による複合的な支え合いの仕組みをつくっていきたい。

複合型スポーツ公園の建設を

やすえ清治議員

問 市民の健康のため、スポーツ振興の充実を進めて欲しいと願っており、議会でも提言してきた。市役所西側の旧警察署跡地の利用方法について、フットサルコート、バスケットコート、ゲートボール場など複合型スポーツ公園を設置すべきと考えているが、有効活用について市の見解を伺う。

答 遊休地化していくのはもったいない。これまでの背景も考えて、スポーツ施設の設置も選択肢として、早急に活用方法を検討したい。

このほか、就学学校の指定の変更要件の拡大、学校校庭の芝生化についての質問がありました。

おいしい水の提供には、水道技術の継承と人材の育成が必要

落合勝利議員

問 市民においしい水を安定して提供するために、①都の進める一元化を踏まえ今後の事業展開について②給配水管の耐震化について③水道事業を支える技術の継承について見解を伺う。

答 ①現時点では一元化については検討していないが、水源確保を最優先したい②管路の耐震化率は27.8パーセントであるが、水道部管路整備計画を現在策定中であり、その計画を踏まえ実施していきたい③東京都、未統合の他市とも連携を進め、人材育成について研究を進めていきたい。

このほか、ビオトープ、高齢者の健康増進対策についての質問がありました。



●吉祥寺美術館「味わいの芸術 和菓子」展
8月5日～9月9日まで、吉祥寺美術館において「味わいの芸術 和菓子」展が開催されました。



●武蔵野市総合防災訓練
平成19年9月2日、境南小学校にて、大地震に備えた総合防災訓練が行われました。

市長の市政運営の基本方針を問う

桑津昇太郎議員

- 問** 邑上市長の市政運営の基本方針について、①経営の視点を重視して運営にあたるべきでは②市役所の組織のあり方をどう考えるか③行財政改革はどこに重きを置くのか。
- 答** ①経営の視点は大変重要であり、今後ますます重視していくべきと考える②制度改革への対応や市民協働、市民へのわかりやすさを重視する③第2次武蔵野市行財政改革を推進するための基本方針を柱に、現場の職員の声も聞きながら進めていきたい。
- 問** 市営屋外プールや市立小・中学校のプールを、オフシーズンの間スポーツ広場として使えるよう整備する考えはないか。
- 答** 防災用の消防水利に指定されており、水を抜かず、財政的にも非常に難しい。

武蔵野市らしい自治基本条例の制定を

内山さとこ議員

- 問** 自治基本条例は市民自治を推進する実働的な役割を果たすと考えるが、①条例制定までのタイムスケジュールは②条例にはどのような事項が必要と考えるか。
- 答** ①平成21年度制定を目標に、丁寧に議論していきたい②市民自治を第一に、市・議会・市民の役割や、市民参加のルール・方法等について盛り込むべきと考える。
- 問** 持続可能なコミュニティづくりのため、新たなコミュニティ構想が必要ではないか。
- 答** さまざまなニーズの高まりから、地域特性を考慮したコミュニティの概念・範囲等の見直しについて再構築が必要と考える。
このほか、タウンミーティング、市民と市の協働についての質問がありました。

浸水対策等について

きくち太郎議員

- 問** 浸水対策として、青葉公園、四小校庭に雨水貯留浸透施設を設置したが、①吉祥寺北町にどの程度効果があったのか②効果について地域住民に説明したのか。
- 答** ①大雨の翌日までに、すべて浸透するなど十分効果は上がっている②具体的に地域に説明していきたい。
- 問** 調整計画市民会議の公募市民委員が、討議要綱を見て、市民会議の提言内容が反映されていないと言っている。市長は公募市民に過度な期待をもたせたのではないか。
- 答** 市民会議の提言が全部計画に反映されるとは説明していない。まだ討議の段階なので、どの程度反映されるかは言えない。このほか、2件の質問がありました。

空きビル・空き家の総点検等について

田辺あき子議員

- 問** 防犯対策として、空きビル・空き家の総点検と管理指導の強化を求める。見解は。
- 答** 想定7千戸の空き家等管理の現状把握は困難だが優先と認識している。管理者への適正管理指導の具体的方策を検討したい。
- 問** 市内にはFM-むさしの受信困難地域があり、緊急時の情報伝達に格差がある。防災行政ラジオ導入も含めた見解を伺う。
- 答** FMアンテナの移設を行い、難聴地域に対応する。防災行政ラジオは研究したい。
- 問** 低学年児童が学校から直接あそべえに通所できるよう、システム改善できないか。
- 答** あそべえの利用状況、要望等を再度整理して対応策を検討したい。

三鷹駅北口の危険箇所何らかの対策を

橋本しげき議員

- 問** 三鷹駅北口は西側バス停前の歩道が狭く、車道との段差があり大変危険であり、何らかの対策が必要であるが見解を伺う。
- 答** 駅前広場の未買収部分は、玉川上水と連続した空間にもなる。今後も継続的に権利者と交渉し、歩道の段差を解消したい。
- 問** 今後、市職員の保育士の定年退職者が一定数予定されているが、採用の予定は。
- 答** 公立保育園改革評価検討委員会の報告にある、公立保育園の運営形態の検討を行う中で、今年度正規職員のあり方についても検討していく。
このほか、平和問題についての質問がありました。

【友好都市安曇野市を表敬訪問】



安曇野市議会を表敬訪問



盛り上がりを見せる「あづみ野踊り」

●7月28日、29日の2日間、正副議長を初め本市区議会議員11名が、友好都市の長野県安曇野市議会を表敬訪問しました。本市と安曇野市は、今年2月5日正式に友好都市提携書を取り交わして、最初の訪問となりました。また、28日は「第28回あづみ野祭り」の開催日でもあり、本市議員は祭りに参加し、安曇野市の皆さんとの交流も深めることができました。

国民健康保険税の激変緩和措置の延長を求める

梶 雅子議員

- 問** 国民健康保険税について、①今年度から3年間実施する激変緩和措置の延長を求める②市独自の負担軽減策を、一般会計から繰り入れてでも実施すべきではないか。
- 答** ①現時点で激変緩和措置を延長する考えはない②負担軽減策の実施は、一般会計からの繰り入れが増大するため困難と考える。どのような支援が必要か検討したい。
- 問** 来年4月より施行の後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者にとって、保険料の負担や健診費用の一部自己負担など負担が大きい。本制度を見直すよう働きかけを。
- 答** 課題等について市長会等で発言し、少しでもいい制度になるよう努めていきたい。

ユニバーサルデザインの取り組み等について

齊藤シンイチ議員

- 問** 市役所西棟は市民協働サロンとして一部利用されているが、ユニバーサルデザイン対応のトイレがない。市の見解を伺う。
- 答** 市役所東南棟にあるだけでもトイレを利用していただきたい。市役所東棟もしくは南棟7階に、だれでもトイレを設置できないか検討している。
- 問** 高齢者人口が増加し、今後療養費などの医療費が増加していく中、どのような方針、対策を考えているか。
- 答** 財源が必要な面もあるが、高齢者が健康でいられるような健康づくり支援に今後取り組んでいきたい。
このほか、三鷹駅北口ツインタワー建設、まちづくりなどについて質問がありました。

【文教委員会で近隣市を視察】



ちどりこども園(三鷹市)



青少年ステーションCAPS(調布市)

●平成19年8月21日、保育園と幼児教育施設をあわせ持つ、三鷹市立ちどりこども園と、中高生世代への健全な居場所を提供し、その力を地域に還元することを目的とした、調布市青少年ステーションCAPSを、文教委員及び委員外議員計14名が視察しました。

第3回定例会で可決された意見書は7件で、政府及び東京都などへ提出されました。

- 国際園芸博覧会の多摩地域での開催に関する意見書
割賦販売法の抜本的改正に関する意見書
私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する意見書
公団住宅居住者の居住の安定に係る意見書

意見書

政府・国会・都への

都市農地保全に関する意見書

武蔵野市議会は、これまでの「都市農地は宅地の供給源」という考え方を改め、都市農地と住宅地が共存共栄できる政策に転換し、現行の農地制度や相続制度等の改善を行うなど、都市農地の保全のために必要な措置を講じるよう国及び都に対し、強く要請する。

インターネットを利用した選挙運動の解禁を求める意見書

武蔵野市議会は政府に対し、インターネットを選挙運動の手段として積極的に活用するため、以下の点を踏まえた公職選挙法の法改正を行うよう強く求める。

一、インターネット関連技術の急速な進歩に対応するため、ホームページ、ブログ、電子メール等のインターネットの形態を幅広く選挙運動に活用できるようにすること。

請願・陳情審議結果

採択

国際園芸博覧会の多摩地域での開催に関する意見書提出に関する請願

公団住宅居住者の居住の安定に係る意見書提出に関する陳情

割賦販売法の抜本的改正を求める意見書の提出に関する陳情

悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することに関する陳情

意見付き採択

外環道路特別委員会の設置に関する陳情

市内在住の私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する陳情

不採択

三鷹北口超高層マンション建築計画(仮称・武蔵野市中町一丁目計画)の見直しに関する陳情

継続

建設工事の信頼性を向上させるため市民による施工監視を行う条例制定に関する陳情

「武蔵野市・精神障害を持つ市民の人権憲章」の制定を求めることに関する陳情

市長のまちづくりに対する姿勢をたどるとともに、地区計画早期制定に関する陳情

子どもの医療費助成を義務教育終了時まで拡大することに

農水省食糧倉庫跡地に関する陳情

容積率の見直しに関する陳情

境一丁目24(都市計画道路沿線)の建ぺい率・容積率の見直しに関する陳情

落書きからまちを守る「落書きクリーン条例等」の制定に関する陳情

二、インターネットを用いた誹謗中傷、なりすまし等の不正行為への対策を適切に講じること。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・総務大臣あて)

高齢者の医療の確保に関する法律の適切な運用を求める意見書

武蔵野市議会は関係機関に対し、高齢者が安心して暮らすことのできる社会と市財政の安定した運営を目指し、左記事項の実現を強く求める。

一、現在の国民健康保険の保険料を参考に、保険料の設定は高齢者の生活実態に即したものとすること。

二、高齢者の負担増や市の超過負担が生じないように、必要な財源措置を行うこと。

三、後期高齢者医療制度が円滑に行われるよう、速やかに必要な情報を提供すること。

(総務・厚生労働大臣、東京都知事、東京都後期高齢者医療広域連合長あて)

With you

Vol.12

武蔵野市民防災協会

～市役所西棟1階に移転しました～



武蔵野市民防災協会では、市民の皆さんの防災対策を支援するために、各種防災用品を展示販売しています。移転前は、防災用品の展示のみで、カタログによるあっせんを行っていましたが、その場ですぐに購入したいという要望にこたえ、現在は非常食や簡易トイレなどを中心に直接販売も行っています。平成22年度からすべての住宅への設置が義務付けられる「住宅用火災警報器」も販売しています。お気軽にお立ち寄りください。

電話 60-1926

インターネット議会中継をご覧いただけます

インターネット議会中継ホームページにアクセスする手順

武蔵野市ホームページから → 市議会 → インターネット中継の順にクリックしてください。

インターネット議会中継ホームページ http://www.musashino-city.stream.jfif.co.jp/

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の1つの基盤となります。氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページなどで確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

Table with 4 columns: Party Name, Phone Number, and Member Names. Includes groups like 自由民主クラブ, 市議会公明党, 日本共産党武蔵野市議団, etc.

議会だよりへの御意見、御要望をお聞かせ下さい。 議会事務局 TEL 0422-60-1883 メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp 市議会ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/cms/gikai/

1面写真募集要領 次回の締切12月7日

- 規格: 六つ切(紙焼き)、カラー。二重応募(他のコンテスト等に応募した作品の応募)は禁止。未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は、返却いたしませんのでご了承ください。
著作権: 作品の著作権は製作者本人に帰属します。ただし、6カ月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
期限: 12月7日(金)当日消印有効
添付書類: 撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名を写真裏面に記載し、郵送にてご応募ください。なお、採用された場合、後日作品のコメントをいただくことがあります。
宛先: 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
問い合わせ: 0422-60-1883